

広島別院だより

Vol.21
春号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

はるひがんえ 春彼岸会が勤まる

三月二十二日に春彼岸会が勤められました。厳しい冬の寒さが和らいできた陽気の中、大勢の方が参詣し、『往生礼讃偈』を唱和しました。講師は、和田隆彦師（安芸南組超覚寺住職）が勤められました。以下、法話の抄録です。

「仏教には、修行して苦悩を除き悟りを得る道と、苦悩を苦悩のまま抱きかかえて念仏に生きる道がある。長い修行の末、苦悩を離れることの出来なかった親鸞聖人は、自らを罪悪深重・煩惱熾盛と自覚され、念仏の道に生きられた。

私には難病を患い、遠く離れて暮らす父親がいる。息子の私に迷惑をかけまいと思っているのが、ひしひしと伝わってくるが、そんな父親に対して何も出来ない無力さを感じつつ、父親を引き取って暮らすことに踏み込めないのは、結局自分可憐いのである。

もし親鸞聖人の教えを聞かせてもらわなかったら、そんな自分をどこまでも責め続け、追いこんでいた



講師：和田隆彦 師



ろう。反面、教えを都合よく解釈して、言い訳をしているだけなのかもしれない。そんなことをいつも堂々巡りで自問自答している。

しかし在家から僧侶になったばかりの頃は、念仏を称えることに抵抗感があった私だが、教えを聞かせていただいたおかげで、苦は苦のまま引き受けて生きていける道が確かにあるのだと、今は肯ける。」と自身の体験や苦悩を通して話されました。

【お寺の活動いろいろ】 ハンセン病問題学習会

二月二十二日に広島別院でハンセン病問題学習会（山陽教区教化委員会社会問題部門主催）が開催されました。

講師は田村朋久氏（長島愛生園歴史館学芸員）と中杉隆法氏（神戸組西林寺）が勤められました。

田村氏はハンセン病回復者の高齢化に伴い、伝承者が年々減少している問題について、中杉氏は真宗大谷派のハンセン病問題に対する今までの関わり方についてなど、さまざまな問題について話されました。

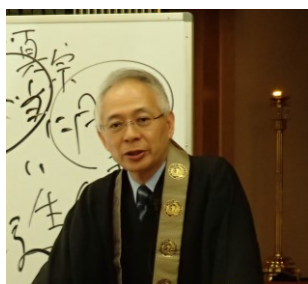
講義後のパネルディスカッションでは、両氏から活発な意見が交わされました。



安芸南組推進員研修会

二月二十七日に広島別院で、安芸南組推進員研修会（安芸南組主催）が開催されました。

講師の海法龍師（東京教区三浦組長願寺住職）が「新しい生き方のはじまり〜親鸞聖人の教え〜」という講題で、「私たちは今、本当に真宗門徒に成り得ていない現状がある。だからこそ、この研修会は真宗門徒が真に真宗門徒になっていくという研修会である」と話されました。



講師：海法龍 師

真宗基礎講座のご案内

- 講師 みはるとしあき 三明智彰 師
九州大谷短期大学学長
- テーマ 親鸞の生き方にたずねて
- 日程 10月 6日（土）
12月 8日（土）
- 時間 13:30～16:00
- 参加費 500円
- ※全5回の講座です。
来年の日程は追ってお知らせいたします。



三明智彰 先生

お寺のハテナ?

お仏供ぶつぐく



仏前にそなえるご飯がお仏供です。お仏飯(おぶっぱん)、お鉢(おはち)ともいいます。お仏供は円筒形の形にします。これは蓮華の実を形どったものです。お仏供を作るための仏具を盛槽(もっそう)といいます。炊きたてのご飯を盛槽に詰め、とろてんのよう押し出し、仏器(ぶつき)に盛ります。炊き込みご飯のような味のついたご飯はおそなえしません。

お仏供はご本尊と脇掛けの前にそなえます。ご本尊が木像なら一對(二本)、絵像なら一本をそなえます。脇掛けが名号ならおそなえする必要はありません。

朝、お勤めをした後、お仏供をおそなえし、正午に下げます。お下げしたお仏供はお昼ご飯の時にいただきますしよ。



お仏供



盛槽

法座・講座等の御案内

非核非戦法会 兼 原爆死没者追弔会

【期日】 七月六日(金)

【講師】 講師 古田和弘師 (大谷大学名誉教授)

日程

- 一四：〇〇～勤行
- 一五：〇〇～法話
- 一六：四〇 終了予定

非核非戦法会 兼 原爆死没者追弔会をお勤めいたします。仏教の視点から核や戦争の問題について語られます。お誘いあわせのうえ、ご参詣ください。



道場樹【編集室より】

先日、先代任職の父が亡くなり葬儀を出した。今まで何百人もの葬儀で導師を勤めてきたが、喪主を務めたのは初めてである。寺院・門信徒への連絡、葬儀社との打ち合わせなど、この記事を書いている最中も四十九日の段取りや役所回りなどで走り回っている。

最近、さまざまな社会的事情から葬儀の簡略化が進んでいる。なるほど、僧侶の私でさえ右往左往するのだから、ましてや世間が簡略化に傾くのは当然だなあと感じた。

しかし、葬儀を終えた今の気持ちは決して嫌なものではない。いろいろと助けてくださった方々の心遣いや温かい悔やみの言葉などを想えば、ただ「感謝」の一言に尽きる。

もし葬儀を簡単に済ませていたら、はたして感謝の気持ちかわいただろうか。

近年、「幸せの国」として話題にのぼるアジアの小国ブータンは熱心な仏教国である。ある調査で、国民に「あなたは幸せですか?」という質問に対し、実に九七%が「幸せです」と答えたという。対して、GDP世界第三位、平均寿命・健康寿命ともに世界一を誇る日本で同じ質問をしても、「幸せです」と答える人が極めて少ないという。経済的な豊かさや健康長寿、効率化、利便性・・・不思議なことに人間は思いが叶うと溜息が出るらしい。いずれにしても、父の死とその葬儀は多くのことを私に教えてくれた。

(H・N)

◎定例法話

- 毎月 5日
- 日程 14：00～勤行と法話
- 15：00終了予定
- 講師 県内僧侶(月替わり)

広島別院開基 教如上人の御命日(毎月5日)に法話会があります。

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

【HP アドレス】 <http://hiroshimabetsuin.com/>